

今日のシライ中

本の翼 白井中学校図書室から VOL.18

小説書き出し問題パート2。次の文章で始まる本の題名と作者は？

- ① 「おい地獄さ行くんだで！」
- ② 桜の樹の下には屍体（したい）が埋まっている！
これは信じていいことなんだよ。
- ③ 春は曙。やうやう白くなりゆく・・・
- ④ これは、わたしが小さいときに、村の茂兵（もへい）というおじいさんからきいたお話です。
- ⑤ かれは年をとっていた。

強烈な印象の書き出しの ① かにこうせん 蟹工船 小林多喜二

② 桜の樹の下には 梶井基次郎 はクイズ番組でよく出題される作品です。

小学校で学習した（③は中学でも学習します）

③ 枕草子 清少納言

④ 新美南吉 こんぎつね は読んだことがありますね。



さて⑤はどうでしょう？

老人と海 アーネスト・ヘミングウェイ 訳 福田 恆存 です。

巨大なカジキと老漁師の孤独な戦いを描いた有名な作品です。

原作では He was an old man・・・で始まります。

訳す人によって「老人は・・・」と訳したり、今年久しぶりに出版された本では、訳者の高見浩さんは「漁師は老いていた。」と訳しています。

出だしに限らず、訳によって作品の世界が大きく変わることがあります。

アメリカの作家シェル・シルヴァスタインの『大きな木』という作品は、本田錦一郎さんの訳、村上春樹さんの訳では印象がガラッと変わります。

短いお話ですから是非読み比べてみてください。

翻訳物は訳で印象が変わることがある！

